

千葉県精神障害者ピアサポート専門員（仮）の養成について（案）

1 事業目的

精神障害のある人について、障害福祉、医療及び企業の現場において、自らの当事者性に基づく支援技術により他の当事者を支援するピアサポート専門員（※）を研修により養成し、その社会参加を促進するとともに、要支援者への支援の向上を図る。

※ 資格ではなく、研修修了者。支援機関等における直接支援業務及び相談支援業務、並びに企業における労務管理業務に従事することを想定。

2 事業対象者

自己管理のできる精神障害のある人及びその使用者（※）

- ピア（精神疾患を経験した人）であること
- 精神疾患を患ったことによる困難や苦労に直面したことがあり、その経験を活かして、就労する意欲と能力があること
- 自身の体調を把握し、通院や服薬を自分で管理できること
- 障害福祉、医療及び企業の現場において、労働者として他の当事者を支援する意欲のあること
- 障害者就業・生活支援センターの利用者として登録をしていること
- 法令及び職場のルールを守れること

※ すでにピアサポート専門員として雇用されている人及びその使用者、並びに支援機関・医療機関等において就労するに足る能力があると認められた人を想定。

3 事業内容

（1）概要

前項に示した事業対象者に対して、研修を実施することによりピアサポート専門員を養成する。（研修修了者に対しては修了証を交付する。）

研修修了者を障害者就業・生活支援センターに利用登録し、既に支援している支援機関と連携のうえ一般就労・職場定着支援を行う。

当初は県の委託により実施し、その内容を検証のうえ、平成 30 年度を目途に指定事業者制への移行を図る。（指定事業者制への移行後は、受講者から受講料を徴収する。）

（2）定員

当事者 12 名及びその使用者（※）

※ 事業採算性の観点から、引続き要検討。

(3) カリキュラム・教材

「座学・演習（3日間）→実習（3週間）→座学・演習（2日間）」により構成。

①座学・演習

「ピアスペシャリストトレーニングマニュアル」（全米ピアスペシャリスト協会監修）を基に（一社）日本メンタルヘルスピアサポート専門員研修機構が作成した「精神障がい者ピアサポート専門員養成のためのテキストガイド」等の内容に沿って実施。

②実習

障害福祉サービス事業所、医療機関において実施。

(4) アフターフォロー

研修修了者を障害者就業・生活支援センターが、既に支援している支援機関と連携のうえ一般就労・職場定着支援を行う。（※）

※ 障害者就業・生活支援センターの本来業務の範囲での支援を想定。

4 事業スケジュール

- (1) 事業計画（案）の作成：H27.1～H27.7
- (2) 千葉県総合支援協議会での検討：H27.8～H27.10
- (3) 研修実施事業者の決定・契約：H27.8～H27.10
- (4) 研修実施準備：H27.8～H27.12
- (5) シンポジウム：H27.12
- (6) 研修実施：H28.1～H28.3
- (7) 千葉県総合支援協議会での検証：H28.4～H28.7

5 推進体制

- (1) 千葉県総合支援協議会精神障害者地域移行推進部会
ピアサポーターの養成、社会参加のあり方等について、総合的に議論を行う。（本事業は、ピアサポーターに係る各種支援施策のひとつという位置付け）
また、次項検討会が作成する事業計画（案）及びその活動の検証も行う。
- (2) 障害者ピアサポーター養成研修事業検討会
事業計画（案）の作成、事業運営に係る進捗管理等を行う。
指定事業者制移行後は、指定事業者等による運営協議会への移行を想定。